

フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)が

## 平成27年4月から施行されます

地球温暖化とオゾン層破壊の原因となるフロン類の排出抑制のため、業務用のエアコン、冷凍冷蔵庫の管理者(所有者など)には機器及びフロン類の適切な管理が義務付けられます。

### 機器の設置に関する義務

確認!

#### ■機器の適切な場所への設置

機器の損傷等を防止するため、適切な場所への設置、設置する場所の維持、保全  
※ 振動源を周囲に設置しない、点検・修理のため必要な作業空間を確保する、機器周辺の清掃を行う。

### 機器使用に関する義務

点検!

#### ■機器の点検の実施

全ての機器について簡易点検を実施。さらに一定規模以上の機器については、専門的な定期点検を実施

※ 業務遂行の為、所有・管理する機器のリスト化と点検体制・スケジュール等を検討下さい。

修理!

#### ■漏えい防止対策/未修理の機器への冷媒充填の禁止

フロン類の漏えいが見つかった際、修理を実施、修理しないでフロン類を充填する事は原則禁止

※ フロン類を充填する場合、都道府県に登録された第一種フロン類充填回収業者へ委託する義務があります。

記録!

#### ■点検等の履歴の保存

機器の点検・整備の履歴について機器毎に記録簿に記録、破棄までの記録簿の保存

算定!  
報告!

#### ■フロン類算定漏えい量の算定・報告

第一種フロン類充填回収業者から充填・回収証明書の交付を受け漏えい量を算定一定量以上の漏えいした場合の毎年度の国への報告

※ 報告された漏えい量は会社名と共に公表されます

※ 業務の遂行のため、充填量・回収量の集計体勢・スケジュールを検討下さい

### 機器の廃棄等に関する業務

回収!

#### ■機器廃棄時などのフロン類回収の徹底

不要となったフロン類の回収依頼、「回収依頼書」又は「委託確認書」の交付、フロン類の回収・再生・破壊に必要な費用の負担

※ フロン類の回収は、都道府県に登録された第一種フロン類充填回収業者へ委託する義務があります。

## 機器の点検の実施について

フロン排出抑制法に基づき機器の点検は、以下の2つの方法があります。

- 全ての業務用のエアコン・冷凍冷蔵機器を対象とした簡易点検  
(製品外観の目視確認など)
- 一定規模以上の業務用エアコン・冷凍冷蔵機器を対象とした定期点検  
(専門家による点検)

なお、法に基づき定期点検の対象及び点検頻度は以下の通りです。

機器の圧縮機に用いられる電動機の定格出力	定期点検の頻度
7.5kw以上の冷凍冷蔵機器	1年に1回以上
50kw以上のエアコン	1年に1回以上
7.5kw以上50kw未満のエアコン	3年に1回以上

定期点検対象機器の確認は、冷凍空調機器の室外機などの銘板に記載された、「圧縮機の定格出力」や「電動機出力・圧縮機」、「呼称出力」などで確認できます。不明な場合は、カタログ確認、メーカーに問い合わせして下さい。

## フロン類の漏えい量の算定・報告について

第一種フロン類充填回収業者から発行される充填証明書、回収証明書に基づき、漏えい量を算定すること(事業者単位、事業所単位)が必要です。

## フロン排出抑制法の義務に違反した者に対しては 以下のような罰則があります。

- フロン類をみだりに放出した場合……1年以下の懲役又は50万円以下の罰金
- 機器の使用・廃棄等に関する義務について……50万円以下の罰金  
都道府県知事の命令に違反した場合
- 算定漏えい量の未報告・偽装報告場合……10万円以下の過料

★ 上記に法律が改正になりました、該当される機器を設置されてる管理者(所有者)の方、ご不明な点がある方はお気軽に弊社までご連絡下さい。

一種フロン取扱い技士による、現場調査、お見積り作成(無料)、法定点検、点検記録作成を致します。  
点検時フロンガスの漏えいを発見した場合別途見積にて修理、フロンガスの充填、充填証明書の発行を致します。

又、ご不用な空調機、冷凍冷蔵設備のフロンガス回収破壊処理、フロンガス回収証明書の発行なども承ります。